

ベリーズ犯罪等発生状況（令和８年５月分）

〔殺傷事件・銃撃事件関連〕

５月３日〔銃撃事件〕 午後６時４０分頃、ベリーズ市ウエスト通りとジョージ通りにおいて、男性（３７歳）が重傷を負う銃撃事件が発生した。警察によると、被害男性がウエスト通りとジョージ通りの間のレーンを車で移動していたところ、何者かに銃撃された。負傷した被害男性はカール・ヒューズナー・メモリアル・ホスピタル（KHM病院）まで自力で運転し、緊急入院した。なお警察は、ギャング関連の事件とみて捜査を進めている。

５月５日〔銃撃事件〕 午後３時２０分頃、フィリップ・ゴールドソン・ハイウェイ５．５マイル地点（ベリーズ市より西側にある複合施設のオールド・ベリーズ付近）において、男性２名（３７歳、２４歳）が負傷する銃撃事件が発生した。警察によると、被害男性らはベリーズ市に向かってハイウェイを走行していたところ、別の車両が近づき突然発砲した。襲撃を受け被害男性らの車は道路から逸脱し転倒、目撃していた近隣住民によりKHM病院へ搬送された。なお警察は、ギャング組織の抗争事件とみて捜査を進めている。

５月６日〔銃撃殺人〕 午前６時頃、カヨ郡サン・イグナシオ町内に所在するナザレン小学校付近において、男性２名（６１歳、５９歳）が死亡する銃撃事件が発生した。警察によると、被害男性らは、ベリーズ警察のボランティア巡査をしている地元の警備員で、事件当日はサン・イグナシオ市場で夜勤を終えたばかりだった。被害男性らは帰宅途中、武装した不審男性２名に尾行され、事件現場となる小学校付近に到着したところで複数回発砲された。警察による捜査が続けられている。

５月７日〔銃撃事件〕 午後７時頃、アンバーgris島サン・ペドロ町サン・マルコス地区において、男性（３２歳）が負傷する銃撃事件が発生した。警察によると、被害男性は食料品店の外で知人男性と口論となりその場を離れた後、知人男性がオートバイで追いかけてきた。被害男性は、相手が所持していた９ミリ口径の拳銃で左肩を撃たれ、病院へ救急搬送された。警察は容疑者を特定しており、行方を追っている。

５月７日〔銃撃殺人事件〕 午後６時３０分頃、ベリーズ市フィリップ・ゴールドソン・ハイウェイ沿いのナイトクラブにおいて、女性（３４歳）が死亡する銃撃事件が発生した。警察によると、容疑者は１６歳の少年で、自宅の金庫に保管してあった拳銃を持ち出した。容疑者の少年は被害女性と何らかのトラブルを起こしており、後を追って同店へ入り発砲した。その後、容疑者の少年は自ら警察に犯行を自白し、ベリーズ中央刑務所の敷地内にあるワグナー少年院へ入所した。

5月7日【銃撃殺人事件】 午後8時30分頃、ベリーズ市バーバラ・ハリス地区において、ギャング構成員とみられる男性（29歳）が死亡する銃撃事件が発生した。警察によると、被害男性が自宅前の歩道上で友人らと交流していたところ、見知らぬ車が目の前に停車し、3人の男が降りて被害者グループに向けて発砲した。この発砲により被害者は致命傷を負った。なお、死亡した被害男性は麻薬密売の前科があり、警察は麻薬密売をめぐるギャング組織間の抗争とみて、捜査を続けている。

5月10日【刺傷事件】 午後1時頃、フィリップ・ゴールドソン国際空港（通称：ベリーズ国際空港）付近において、男性（35歳）が刺される事件が発生した。警察によると、被害者男性は一緒にいた自身の叔父と口論となり、叔父がナイフを取り出し被害者男性を刺した。刺されたことで重傷を負った被害者はKHM病院へ救急搬送され、治療を受け容態は安定している。警察は、容疑者である叔父の行方を追い、捜査を続けている。

5月10日【銃撃殺人事件】 午後7時30分頃、オレンジウォーク郡トライアル・ファーム村において、男性（28歳）が死亡する銃撃事件がはっせいした。警察によると、被害男性はこの村の村長が主催する母の日のお祝いイベントに出席した後、帰宅途中に車のタイヤがパンクし修理をしていたところ、不審人物が近づき発砲した。被害男性は、駆けつけた警察により北部地域病院へ救急搬送されたが、2時間後に死亡が確認された。警察は、この事件の容疑者として被害男性のパートナーの元夫を拘束した。

5月12日【銃撃事件】 午後2時頃、ベリーズ郡レモナル村において、女性（33歳）が負傷する銃撃事件が発生した。警察によると、土地をめぐる対立の最中、土地を整地していた重機の運転手（54歳）に被害女性を含むグループが近づき、作業を中断するよう要求した。この運転手と対立グループは口論となり、運転手は銃を取り出し発砲した。銃弾は被害女性の右足に被弾した。その後、駆けつけた警察により運転手は拘束され、被害女性はKHM病院へ救急搬送された。

5月13日【銃撃殺人事件】 午後9時頃、ベリーズ郡ローズ・バンク村において、この村の男性（48歳）が死亡する銃撃事件が発生した。警察によると、被害男性が自宅で過ごしていたところ、家の外から何者かに呼ばれ、玄関から出た際に銃撃された。被害男性は、数ヶ月前にオレンジウォーク町で発生した殺人事件の被害者の兄弟で、警察は今回の事件との因果関係を含め、捜査を続けている。

5月14日【銃撃事件】 午前8時30分頃、首都ベルモパン市サルバパン地区において、男性二人組（23歳と20歳）が警察と銃撃戦となる事件が発生した。警察は、銃器関連の犯罪に対して、監視班と戦術対応班による合同作戦を遂行中、容疑者2名と銃撃戦となった。

銃撃後、容疑者らは車で逃走したが、追跡した警察により逮捕、拘束された。なお、逃走車両からは、9ミリ口径の拳銃1丁と、51発の銃弾が押収された。

5月14日【銃撃事件】 午後8時40分頃、ベリーズ市ポートロヨラ地区グレース・エンバクス通りにおいて、少年（19歳）が銃撃され死亡する事件が発生した。警察によると、被害少年が自宅の庭で過ごしていたところ、拳銃を所持したヒスパニック系の男性が近づき、突然発砲した。発砲後、容疑者は逃走し警察が行方を追っている。なお、警察は最近発生した17歳と18歳の少年の殺害事件と関連があるとみて、捜査を行っている。

5月14日【銃撃事件】 午後9時頃、ベリーズ市内南部地域のジェーン・アッシャー通りにおいて、男性1名が死亡する銃撃事件が発生した。警察によると、事件現場近くのバスケットコートで銃声があったとの通報を受け警察が現場へ駆けつけたところ、男性が倒れているのを発見した。この事件の詳細はわかっておらず、警察による捜査が続いている。

5月19日【銃撃事件】 午後10時頃、カヨ郡ユナイテッドビル村において、男性（43歳）が死亡する銃撃事件が発生した。警察によると、被害男性は同村の幹線道で突然銃撃された。その後、被害男性は西部地域病院へ救急搬送されたが、死亡が確認された。銃撃後、警察は容疑者の乗った車両を追跡し、8名を拘束した。なお、被害男性はこの地域で違法薬物を密売している男性の親族で、警察は、被害男性が麻薬関連活動の標的として襲撃されたとみて捜査を進めている。

5月29日【銃撃事件（当館注目）】 午前8時30分頃、首都ベルモパン市ラス・フローレス地区において、男性医師（36歳）が死亡する銃撃事件が発生した。警察によると、被害男性は娘を学校に送っていたところ、同地区にて突然襲撃され、殺害された。なお、後部座席にいた被害者の娘は無事だった。被害男性はベルモパン医療画像センターの内科医で、地元市民から多くの尊敬を集める人物だった。警察はこの事件を捜査し、後日、殺害を計画したとされる臨床検査技師の女性（26歳）と、実行犯とみられる電気技師の男性（37歳）を容疑者として拘束した。臨床技師の女性は被害男性のビジネスパートナーであった。警察は、ビジネス上のトラブルから殺害を計画したとみて捜査を進めている。

5月31日【銃撃事件】 午後1時30分頃、カヨ郡ユナイテッドビル村において、女性（35歳）が負傷する銃撃事件が発生した。警察によると、被害女性は知人男性2名と車内で談笑していたところ、自分たちの車の近くに不審車両が停車し、中から2人の男性が降りてきて突然発砲した。この襲撃により被害女性は負傷したが、命に別状はない。警察は容疑者を特定しており、行方を追って捜査を継続している。

5月31日【銃撃事件】 午後8時頃、ベリーズ郡ガーデニア村において、少年（15歳）が死亡する銃撃事件が発生した。警察によると、被害に遭った少年は家族と自宅前で過ごしていたところ、拳銃を所持した不審男性が近づき家族に向けて突然発砲した。警察は、この襲撃は、家族の中の誰かと銃撃犯との間にトラブルがあったとみて捜査を進めている。

【強盗事件・窃盗事件関連】

5月7日【盗品等関与罪の幫助】 午前10時頃、盗品の売買を幫助した疑いでベリーズ市に住む男性（32歳）がベリーズ地裁へ出廷した。この事件は、5月1日に現金が必要だとする男性から、被告が工具類を購入したことに端を発している。警察は、被告が購入した工具類は盗品であり、また、被告が販売者の身元を頑なに明かさないことから盗品の取扱いを幫助したと主張した。地裁判事は、被告に有罪判決を下し、裁判費用を含む罰金305ベリーズドル（約2万3千円）を科した。

5月8日【侵入窃盗事件】 午後6時から翌午後7時にかけて、ベリーズ市内南部地域に所在するセント・ジョン・ヴィアニー・ローマ・カトリック小学校（当館注：邦人教員が勤務する学校）において、侵入窃盗事件が発生した。警察によると、同校の副校長から通報を受けた警察が現場へ駆けつけたところ、1年生の教室と2年生の教室が荒らされているのを確認した。1年生の教室はドアが破損し、2年生の教室からは扇風機2台と募金箱が盗まれ、被害総額は650ベリーズドル（約5万円）だった。

5月11日【窃盗事件】 午前10時頃、ベリーズ市在住の男性（55歳）が、元雇用主から2万2千ベリーズドル（約165万円）相当の宝石と現金を盗んだ罪により、ベリーズ地裁へ出廷した。被告は法廷で、元雇用主のもとで15年間働いてきたが正当な報酬が支払われていなかったため、盗んだ物品を質屋に売って現金にしたと述べた。地裁判事は、被告の情状酌量の嘆願と前科がないことを認めつつも、犯行の重大性と盗品の価値を無視することはできないとした。判事は、情状酌量を考慮し懲役1年のところ、懲役4ヵ月に減刑する判決を下した。

5月11日【強盗事件】 午後10時頃、ベリーズ市内南部地域セント・マルティン・デ・ポレス地区において、男性が強盗に遭う事件が発生した。警察によると、被害男性は泥酔状態で帰宅していた途中、何者かに背後から鈍器のような物で殴られ意識を失った。近隣住民から通報を受けた警察が被害男性を発見しKHM病院へ搬送、被害男性は病院で意識を取り戻した。その後、被害男性は自身のスマートフォンと現金3,000ベリーズドル（約23万円）が盗まれていることに気がついた。警察は、強盗犯の行方を追って捜査を開始した。

[違法薬物・違法銃器類関連]

5月7日【違法薬物所持】 午前10時頃、ベリーズ市在住の男性が規定量以上（当国では10グラム以上）の大麻28グラムを所持していたとして、ベリーズ地裁へ出廷した。この事件は、5月2日に挙動不審な被告をパトロール中の警察が発見し、所持品検査を行ったところ大麻を発見し、逮捕、起訴した。地裁判事は、法廷で被告が曖昧な有罪答弁をしたため、保釈金305ベリーズドル（約2万3千円）とその保証人1名を条件に保釈し、判決は次回公判に持ち越した。

5月15日【違法銃器類の摘発】 午前8時30分頃、首都ベルモパン市において、違法な銃器類（登録のない拳銃1丁と銃弾51発）を摘発し、所持していた男性2人を逮捕した。警察によると、この事件は以前から情報提供があり警察が捜査を進めていたところ、ベリーズ郡バレル・ブーム村在住の男性（23歳）とカヨ郡ローリング・クリーク村在住の男性（20歳）が容疑者として浮上した。警察は、ベルモパン市のサルバパン地区で活動していた容疑者らを拘束し、これらの武器の入手経路について捜査を進めている。

5月15日【違法薬物の所持】 午後2時頃、ベリーズ市在住の男性（33歳）がコカイン2グラム、大麻100グラムを所持していた罪でベリーズ地裁へ出廷した。警察によると、同日午前、同市内の被告の自宅において、通報をもとに警察が捜査したところ違法薬物を発見した。地裁判事は、被告が早期に罪を認めたことを考慮し、裁判費用を含む罰金1,510ベリーズドル（約11万6千円）を科した。被告が期日である8月7日までに支払えなかった場合、被告は半年間の禁固刑となる。

5月18日【クラックパイプ所持】 午前9時頃、ベリーズ市在住の男性（63歳）がクラック・コカイン吸引用の器具（クラックパイプ）を所持していた罪で、ベリーズ地裁へ出廷した。警察によると、5月14日にベリーズ市テイラーズ・アレー（裏通り）において、クラックパイプを所持しているところをパトロール中の警察に発見され、逮捕、起訴された。なお、被告は同月中に同様案件で3度目の逮捕となり、地裁判事に対して刑務所行きではなく罰金刑と寛大な処置を求め懇願した。地裁判事は被告の申し立てを認め、裁判費用を含む305ベリーズドル（約2万3千円）を科した。被告が期限である7月31日までに支払えなかった場合、被告は3ヵ月間の禁固刑となる。

5月18日【違法銃器類の所持】 午前10時頃、ベリーズ市在住の男性2人が違法な銃器類（登録のない拳銃1丁と銃弾15発）を所持していた罪で、ベリーズ地裁へ出廷した。警

察によると、非常事態宣言対象地域内の住宅に銃器があるとの通報を受けた警察が当該住宅を捜査したところ、床下から銃弾が装填された拳銃を発見した。この事件で、家主の男性（３４歳）と居住者の男性（３３歳）が共同で逮捕、起訴された。両被告への保釈は認められず、一ヶ月後の次回公判までベリーズ中央刑務所へ拘留される。

５月１８日【**違法薬物の所持**】 午前１１時頃、ベリーズ市在住の男性（２７歳）が規定量以上的大麻１４グラムを所持していた罪で、ベリーズ地裁へ出廷した。警察によると、被告の居住区であるハウゼル通りにおいて、パトロール中の警察が挙動不審な被告を呼び止め、所持品検査を行ったところ大麻を発見した。地裁判事は、被告の有罪答弁と反省の態度を認め、また、規定量をわずかに超えていたことを考慮し、裁判費用を含む罰金５５ベリーズドル（約４千円）を科した。しかし、被告には過去に同様の罪で１万ベリーズドル（約７７万円）の未払いがあり、これを支払うよう求めた。

５月２１日【**違法銃器及び違法薬物の所持**】 午前１０時頃、ベリーズ市エボニー通りの住宅において、男性（３１歳）が登録のない銃器類及びコカインを所持していたとして逮捕、起訴された。警察によると、情報提供をもとに警察が男性の自宅を捜査したところ、１４発の銃弾が装填された９mm拳銃と０．８グラムのコカインを発見した。男性は、翌２１日にベリーズ地裁へ出廷し、無罪を主張しが、地裁判事は犯罪の性質上、保釈を認めることはできないとし、被告は次回公判までベリーズ中央刑務所へ拘留されることになった。

５月２１日【**違法銃器類の所持**】 午前１１時頃、ベリーズ市ウエスト・コレット運河において、男性（２５歳）が登録のない銃器類を所持していたとして、逮捕、起訴された。警察によると、パトロール中の警察が拳銃を所持している男性を発見し、念のため登録状況を確認したところ、男性は許可証を所持しておらず、また登録の届け出がない拳銃であった。男性は翌２１日にベリーズ地裁へ出廷し、無罪を主張したが、地裁判事は犯罪の性質上、保釈を認めることはできなとし、被告は次回公判までベリーズ中央刑務所へ拘留されることになった。

５月２２日【**違法薬物の所持**】 午前１１時頃、ベリーズ市在住の男性（３３歳）が来て量以上的大麻３０グラムを所持していた罪で、ベリーズ地裁へ出廷した。警察によると、同日の早朝、情報提供をもとに被告の自宅を警察が捜査したところ、大麻が入ったビニール袋を発見した。被告は有罪答弁にて、早期に自身の罪を認め反省の意を示したため、地裁判事は裁判費用を含む３０５ベリーズドル（約２万３千円）の罰金刑を科した。被告が期日である７月３０日までに支払えなかった場合、３ヵ月間の禁固刑となる。

５月２９日【**クラックパイプの所持**】 午前１１時頃、ベリーズ市在住の男性（２５歳）が

クラック・コカイン吸引用の器具（クラックパイプ）を所持していた罪で、ベリーズ地裁へ出廷した。警察によると、前日の午後３時頃、ウィリアムズ・フォンセカ通りをパトロール中の警察が、挙動不審な被告を呼び止め身体検査をしたところ、クラックパイプを発見した。被告は、過去にも同様の犯罪で複数回有罪判決を受けていたため、地裁判事は３ヵ月間の禁固刑を科した。その後、被告はベリーズ中央刑務所へ移送された。

[その他事件・事故関連]

５月７日【**他人のカードを不正利用**】 午前９時頃、キー・カーカー島在住の男性（３８歳）が他人のデビットカードを不正利用した罪により、ベリーズ地裁へ出廷した。警察によると、アメリカ人観光客である被害女性は、自身の銀行口座から不正利用の警告を受け、警察へ通報した。その後の捜査で、被告が被害女性のデビットカードを拾得していたことが判明し、食料品等を購入するため７６５ベリーズドル（約５万８千円）を無断で使用していた。地裁判事は、他人のカードを不正利用した罪は重罪であることを強調し、被告に１,０００ベリーズドル（約７万７千円）の罰金を科した。

５月１１日【**詐欺事件**】 午前１０時頃、ベリーズ市在住の女性が高等裁判所の職員を装って被害女性から金銭をだまし取った罪により、同日、ベリーズ地裁へ出廷した。警察によると、６０歳の被害女性が亡くなった娘の遺産管理許可証を取得するため、２０２５年９月から半年の間、被告へ合計で２,５００ベリーズドル（約２０万円）を支払った。その後、被害女性は被告と連絡が取れなくなったため、警察へ通報した。警察の捜査により、逃亡中だった被告は５月７日に逮捕、起訴され、同１１日に出廷した。被告は無罪を主張し保釈を求め、異議がなかったため地裁判事はこれを認め、保釈金３,０００ベリーズドル（約２３万円）とその保証人１名を条件に保釈し、判決は次回公判に持ち越した。

５月８日【**非常事態宣言の発出（当館注目）**】 午前０時、ベリーズ政府は、ベリーズ市南部全域及び北部の一部地域とベリーズ郡内の９つの村を対象に、治安悪化を理由とした非常事態宣言を発出、対象地域外においては国内全域に指名手配書を配布した。同宣言は、国内全域、特に対象地域の犯罪活動抑制を目的とし、逮捕状なしでの緊急逮捕等、より広域な権限が警察官へ付与される。なお、同宣言は撤回または延長されない限り、最長１ヵ月有効となる。

５月１２日【**家庭内暴力による殺害事件**】 午前５時３０頃、カヨ郡サンタ・エレーナ町レッド・クリーク地区において、男性（３６歳）が家庭内暴力を受け死亡する事件が発生した。警察によると、被害男性と同居していた母親が床の上で動かなくなっている被害男性を発

見し、警察へ通報した。警察が捜査したところ、被害男性は内縁の妻と激しい口論となり、熱湯の入った鍋を投げつけ殺害した。なお、被害男性の死因は重度のやけどで、左半身がただれた状態だった。警察は容疑者である内縁の妻を逮捕、拘束している。